

令和3年度（2021年度）  
大分大学大学院工学研究科  
博士前期課程

# 学 生 募 集 要 項

一 般 入 試  
社 会 人 入 試

新型コロナウイルス感染症への対応のため、やむを得ず、本募集要項記載の内容について、試験期日や選抜方法等を変更する緊急措置を実施する場合があります。

その場合は、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）等において周知いたします。

令和2年（2020年）5月

# 目 次

○大分大学大学院工学研究科博士前期課程入学者受入れの方針（A P：アドミッション・ポリシー）……	1
○大分大学大学院工学研究科博士前期課程学位授与の方針（D P：ディプロマ・ポリシー）……	2
○一般入試（口述型・筆記型）	
1. 入試日程 ……………	3
2. 募集人員 ……………	3
3. 出願資格 ……………	4
4. 出願手続 ……………	5
5. 出願書類等 ……………	6
6. 選抜方法 ……………	7
7. 選抜日時及び試験科目 ……………	8
8. 試験会場 ……………	9
9. 合格者発表 ……………	9
○社会人入試	
1. 趣旨 ……………	10
2. 入試日程 ……………	10
3. 募集人員 ……………	10
4. 出願資格 ……………	10
5. 出願手続 ……………	11
6. 出願書類等 ……………	12
7. 選抜方法 ……………	12
8. 面接試験の日程、内容 ……………	13
9. 試験会場 ……………	13
10. 合格者発表 ……………	13
○共通項目	
1. 障がいのある者等の事前相談について ……………	14
2. 入学手続 ……………	14
3. 入学料及び授業料 ……………	14
4. 注意事項 ……………	14
5. その他 ……………	14
○工学研究科博士前期課程案内	
1. コースの概要 ……………	15
2. 分野別授業科目 ……………	17
◎試験会場案内図 ……………	20
○出願様式等	
入学志願書、履歴書	
受験票、入学検定料払込証明書（大学提出用）貼付欄	
一般入試（口述型）推薦書	
研究（希望）計画書	
職務経歴書	
払込取扱票	
合格通知用住所シール	
受験票返送用封筒	
出願用封筒	

# 大分大学大学院工学研究科博士前期課程 入学者受入れの方針（AP：アドミッション・ポリシー）

## 基本理念

質の高い特色ある教育と研究を通じて、世界に通用する科学技術を創造し、もって地域に貢献するとともに、豊かな創造性、社会性及び人間性を備えた人材を育成することです。

## 教育・研究の目標

自らの課題を探究する高い学習意欲と柔軟な思考力を有し、国際基準を満たすゆるぎない基礎学力と高度の専門知識を備えるとともに、豊かな人間性と高い倫理観を有する人材を養成することです。

## 求める学生像

工学研究科博士前期課程では、持続可能で安全安心な社会構築のために、自然との共生や、真に人類に役立つ技術とは何かを自ら考え、工学及び工学関連分野の先進的科学技術によって人類福祉に貢献する意欲をもっている人を求めています。

以上の観点と本学の求める学生像から、具体的には、次のような人を求めています。

1. 工学及び工学関連分野の深い専門知識と高度な技術を身につけた技術者、研究者、教育者をめざしている人。
2. 修得した知識や技術を活用して、地球規模で起きている課題解決に積極的に貢献したいという意欲をもっている人。
3. 国際的な広い視野と倫理観を身につけて、地域社会や国際社会でリーダーシップと行動力を発揮しようとする意欲をもっている人。
4. 志望する分野の理解を支える理工学系の基礎学力を有し、それらに基づいて論理的に思考し、他者と意思疎通できるコミュニケーション力をもっている人。

## 入学者選抜の基本方針

本研究科では、前述の「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため、一般入試のほか社会人入試及び外国人留学生入試を実施し、学生を選考します。

### ・一般入試（口述型・筆記型）

口述型では、学部での成績が極めて優秀である者か、あるいは、志望する専門分野に関する十分な基礎能力を持つ者として出身大学等により推薦された者に対して、専門基礎学力に関する口述試験による学力検査及び出願書類審査を総合して判定します。

筆記型では、入学者の選抜は、学力検査（筆記試験及び面接試験）及び出身大学等の成績証明書を総合して判定します。

### ・社会人入試

各種の研究機関、企業又は教育機関等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として本学大学院工学研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。入学者の選抜は、書類審査及び面接の結果を総合して判定します。

### ・外国人留学生入試

入学者の選抜は、学力試験、面接試験及び書類等を総合して判定します。

# 大分大学大学院工学研究科博士前期課程学位授与の方針 (DP：ディプロマ・ポリシー)

大分大学工学研究科博士前期課程では、広い分野を包含する工学系の確かな基礎学力を持ち、持続可能で安全安心な社会構築のための高度な専門知識を備えるとともに、以下のような知識・能力を身に着けた学生に、修士（工学）の学位を授与する。

1. 専門分野における高度な知識を修得するとともに、学部で培った学修をより深めることやさらに先端的な学術研究への展開を行い、複雑化する社会の諸問題に対して工学の視点から解決できる力を有している。
2. グローバルな視点から工学系の各分野における俯瞰力を持ち、課題の探求と解決さらには科学技術の革新に挑む意欲をもっている。
3. 地球規模で起きている課題を理解するとともに、地域や国・世界レベルでの課題解決とイノベーションの創出に意欲的・積極的に取り組むことができる。
4. 社会人として課題解決に必要な論理的思考力と判断力及び記述力を持ち、他者とのコミュニケーションを通してグローバルに活躍できる。
5. 技術者、研究者、教育者としての責任と使命を認識し、豊かな人間性と高い倫理観に基づいた行動ができる。

# 一般入試募集要項

## 1. 入試日程

区 分	第1次募集		第2次募集
	口述型	筆記型	筆記型
出 願 期 間	2020年6月1日（月） ～6月5日（金）	2020年8月3日（月） ～8月7日（金）	2021年1月8日（金） ～1月14日（木）
試 験 日	2020年7月15日（水）	2020年8月29日（土） ～8月30日（日）	2021年2月2日（火） ～2月3日（水）
合格者発表	2020年9月11日（金）		2021年2月15日（月）

※第2次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

## 2. 募集人員

専 攻	コース（教育プログラムと分野）	募集人員
工 学	機械エネルギー工学（工学専門教育プログラム機械エネルギー分野）	135人
	電気電子工学（工学専門教育プログラム電気電子工学分野）	
	知能情報システム工学（工学専門教育プログラム知能情報システム工学分野 および数理科学教育プログラム数理科学分野）	
	応用化学（工学専門教育プログラム応用化学分野および自然科学教育プログラム自然科学分野）	
	福祉環境工学建築学（工学専門教育プログラム福祉環境工学建築学分野）	
	福祉環境工学メカトロニクス（工学専門教育プログラム福祉メカトロニクス分野）	

※各コースの受入れの目安は次のとおりです。

機械エネルギー工学コース	26人程度
電気電子工学コース	26人程度
知能情報システム工学コース	28人程度
応用化学コース	25人程度
福祉環境工学建築学コース	18人程度
福祉環境工学メカトロニクスコース	12人程度

※口述型の募集人員は、各コース若干名です。

### 3. 出願資格

#### 筆記型

次のいずれかに該当する者

- (1) 大学を卒業した者及び2021年3月までに卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者及び2021年3月までに授与される見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者及び2021年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者及び2021年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者及び2021年3月までに修了見込みの者
- (6) 大学に3年以上在学した者、外国において学校教育における15年の課程を修了した者、外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における15年の課程を修了した者、又は我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における15年の課程を修了したとされる者に限る。）を有するものとして当該外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者で、本学大学院において、所定の単位を優れた成績をもって修得したものと認めた者
- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たす者に限る。）で文部科学大臣が別に指定したものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2021年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）
- (9) 他の大学に3年以上在学し、当該大学大学院に入学した者で、本学大学院において大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者
- (10) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、入学時において22歳に達している者

注1. 出願資格（6）及び（9）によって出願しようとする者は、出願前に入学資格の確認をする必要があるため、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

注2. 出願資格（10）については、短期大学、高等専門学校、専修学校（出願資格（7）に該当する者を除く。）、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

照会期限	第1次募集	2020年7月2日（木）
	第2次募集	2020年12月11日（金）

#### 第1次募集口述型

次の（1）～（5）のいずれかに該当する者で、**合格した場合に入学を確約できる者**

- (1) 高等専門学校専攻科を2021年3月に修了見込みの者で、高等専門学校及び専攻科修得科目のうち、80点以上に相当する評価が、科目数又は単位数の比率で50%以上の者。ただし、電気電子工学コースのみ60%以上の者。

- (2) 大学を2021年3月に卒業見込みの者で、3年次終了時における修得科目のうち、80点以上の評価が、科目数または単位数の比率で50%以上の者。ただし、電気電子工学コースのみ60%以上の者。なお、本学出身者でこの出願資格を対象とするのは、機械エネルギー工学コース、電気電子工学コース、福祉環境工学メカトロニクスコースに限る。
- (3) 本学工学部又は理工学部を2021年3月に卒業見込みの者で、3年次終了時の累積成績指標値が各コースの定める数値以上の者及び本学理工学部を2021年3月に早期卒業見込みの者。
- (4) 文部科学大臣の指定した者（昭和28年文部省告示第5号参照）で、学業および人物ともに優れているとして、**出身（在籍）大学等の学部長等から推薦された者。**
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、学業および人物ともに優れているとして、**出身（在籍）学校等により推薦され、かつ入学時において22歳に達している者。**

注1. 出願資格（4）及び（5）によって出願しようとする者は、出願時に本学所定の推薦書を提出してください。

注2. 本学以外の者の出願にあたっては、事前に志望するコースのコース長に、受験希望及び配属希望研究室をご連絡ください。

注3. 出願資格（3）の累積成績指標値は以下の表のとおりです。

専攻	コース	累積成績指標値	
		工学部	理工学部
工 学	機械エネルギー工学	3.4	2.4
	電気電子工学	3.8	2.8
	知能情報システム工学	3.3	2.3
	応用化学	3.8	2.8
	福祉環境工学建築学	3.8	2.8
	福祉環境工学メカトロニクス	3.5	2.5

注4. 口述型を出願する場合には、英語能力試験の成績証明書の提出は不要ですが、口述型試験を不合格の判定を受けた場合に筆記型の受験を希望する者は、英語能力試験の成績証明書が必要となります。

注5. 出願資格（5）については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これによって出願しようとする者は、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

照会期限	2020年5月21日（木）
------	---------------

#### 4. 出願手続

##### (1) 出願期間

第1次募集	口述型	2020年6月1日（月）～6月5日（金）必着
	筆記型	2020年8月3日（月）～8月7日（金）必着
第2次募集	筆記型	2021年1月8日（金）～1月14日（木）必着（土、日、祝日を除く）

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

##### (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課（TEL 097-554-7006）

注. 出願を希望する者は、あらかじめ志望するコースの希望する指導教員と研究内容について相談の上、出願してください。

## 5. 出願書類等

書類名	備考
(1) 入学志願書	裏面の履歴書も必ず記入してください。写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(2) 受験票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(3) 口述型推薦書	本学所定の用紙（口述型出願資格（4）及び（5）該当者のみ）
(4) 成績証明書	
(5) 卒業（修了）証明書又は卒業（修了）見込証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
(6) 学士の学位授与証明書又は学士の学位授与申請申立書	大学改革支援・学位授与機構が証明したもの ※授与見込者の申立書については様式任意 （筆記型出願資格（2）、口述型出願資格（1）該当者のみ）
(7) 英語能力試験の成績証明書（注1）	筆記型を出願する場合、全コース提出が必要です。 ※成績証明書は下の部分を切り離さずに全体を提出してください。 ※持参で出願する場合、原本とコピーの両方を提出してください。（原本は確認後返却します。）
(8) 入学検定振替払込受付証明書等（30,000円）  ※国費外国人留学生を除く	①②のいずれかの方法でお支払いください。 ①金融機関（郵便局を含む）でお支払いの場合 <b>本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。（ATM 不可）</b> お支払い後は「振替払込受付証明書（大学提出用）」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ②コンビニエンスストア（一部）でお支払いの場合 以下のURLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。 お支払い後は「収納証明書（コンビニエンスストアによっては領収書）」を受験票の貼付欄に貼ってください。 ・本学ホームページ（ <a href="https://www.oita-u.ac.jp/">https://www.oita-u.ac.jp/</a> ） 上部メニュー→ <b>入試情報</b> → <b>入学検定料のコンビニ収納</b> から申込んでください。 ・携帯電話からの申し込みURL（ <a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a> ） ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。  ※手数料は本人負担となります。 ※納付した検定料は返還できません。
(9) 返信用封筒（受験票返送用）	本学所定の封筒。あて名等を明記し、374円分の切手を貼ったもの。
(10) 合格通知用住所シール	本学所定の用紙（4枚とも同じ住所・氏名を記入し、切り取らずに提出してください。）



注1）出願書類（7）については、試験日の2年前から出願までの間に受験した以下のいずれかの英語能力試験の成績証明書（主催者等の証明印のあるもの）を提出してください。団体特別受験制度（カレッジTOEICもこれに含まれます）で受験した場合はScore Sheet（コピー不可）を提出してください。Score Sheetの原本は複写後、受験票に同封して返却します。なお、以下の3種類の英語能力試験科目の複数を受験した場合は、各自の判断で有利と思われるものを1つ選択して提出してください。

- ・TOEIC®L&R (Listening & Reading Test)
- ・TOEIC®L&R IP (Listening & Reading Test Institutional Program)
- ・TOEFL®iBT

## 6. 選抜方法

入学者の選抜は、第1次募集は口述型又は筆記型、第2次募集は筆記型によって行います。

### 第1次募集

#### <口述型>

##### ①受験資格の決定

受験資格の決定は、出願書類によって行います。なお、志願者のうち口述型の有資格者とならなかった者は、筆記型を受験することができます。その際、出願書類の再提出及び入学検定料の再徴収は行いません。

##### ②受験資格結果通知

志願者には、2020年6月26日（金）に受験資格結果通知及び受験票を本人宛に発送します。

##### ③入学者の選抜

入学者の選抜は、専門基礎学力に関する口述試験による学力検査及び出願書類審査により行います。

##### ④口述型判定通知

専門基礎学力に関する口述試験による学力検査の判定通知は、2020年7月31日（金）に本人宛に発送します（HP掲載等を行いません）。なお、不合格の判定を受けた場合、筆記型を受験することができます。その際、出願書類の再提出及び入学検定料の再徴収は行いません。

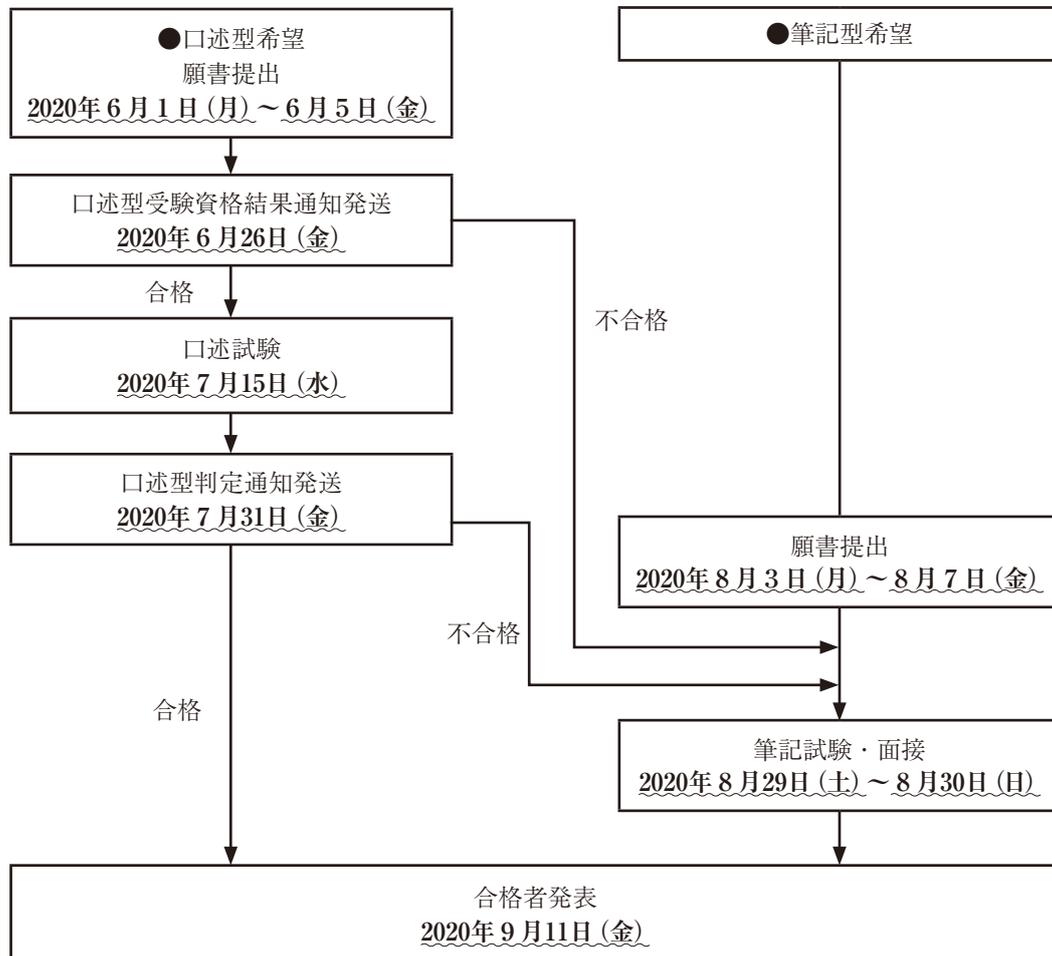
### 第1次募集・第2次募集

#### <筆記型>

入学者の選抜は、学力検査、面接及び成績証明書の結果を総合して行います。

### 第1次募集

#### 口述型と筆記型の手順



## 7. 選抜日時及び試験科目

各コースに必要な試験科目を受験しなかった場合は、不合格となります。

### <口述型>

期日	試験科目	時間
7月15日(水)	専門基礎学力に関する口述試験	10時～

### <筆記型>

試験科目	専門科目		面接
日時(第1次)	8月29日(土)10時～	8月30日(日)10時～	8月30日(日)
コース(第2次)	2月2日(火)10時～	2月3日(水)10時～	2月3日(水)
機械エネルギー工	注1, 注2, 注3)「熱力学A, 流体工学A, 材料力学A, 機械力学の4科目」もしくは「工業数学および熱力学B, 流体工学B, 材料力学B, 電気回路, 電磁気学, 電気機器の中から3科目選択」		学力検査終了後に行います
応用化学	注1, 注3)「無機化学, 有機化学, 物理化学, 分析化学, 生物化学, 化学工学, 高分子化学の中から4科目選択」もしくは「数学(線形代数, 微分・積分), 物理学(力学, 電磁気学, 熱・統計力学), 化学(無機化学, 分析化学, 有機化学), 生物学(生態学, 分子生物学), 地学(大気海洋科学, 天文学)の5科目(すべて基礎的内容)」		
電気電子工学	電気電子数学 (線形代数, 多変数関数の微分・積分, 微分方程式, ベクトル解析, 複素解析, フーリエ解析, ラプラス変換, 確率統計の基礎 より出題)	電子回路	
	電磁気学 電気回路		

試験科目	専門科目		面接
日時(第1次)	8月29日(土)13時～	8月30日(日)10時～	8月30日(日)
コース(第2次)	2月2日(火)13時～	2月3日(水)10時～	2月3日(水)
福祉環境工学 メカトロニクス	工業数学	注1) 機械工学(機械設計学, 機械制御<いずれも力学を含む>から出題) 注1) 電気工学(電気回路, 電磁気学, 電子回路から出題)の中から1科目選択	学力検査終了後に行います

試験科目	専門科目		面接
日時(第1次)	8月29日(土)10時～	8月29日(土)13時～	8月30日(日)
コース(第2次)	2月2日(火)10時～	2月2日(火)13時～	2月3日(水)
知能情報システム工学	注3)「情報工学(計算機工学, アルゴリズム論, デジタル回路, 数理計画論, 多変数解析の5分野の中から4分野を選択)」もしくは「数理科学(代数学, 解析学, 幾何学, 応用数学, 離散数学, 統計科学の中から1科目を選択)」 ※情報工学を解答する場合は, 選択する4分野を志願書に以下の要領で記入してください。出願後の受験分野の変更はできません。	情報数学	10時～

	記載例：①情報工学(計算機工学) ... ④情報工学(アルゴリズム論) ※数理学を解答する場合は、選 択する1科目を志願書に以下の 要領で記入してください。出願 後の受験科目の変更はできませ ん。 記載例：数理学(解析学)	
--	---	--

試験科目	専 門 科 目		面 接
日時(第1次)	8月29日(土)10時～	8月29日(土)14時～	8月30日(日)
コース (第2次)	2月2日(火)10時～	2月2日(火)14時～	2月3日(水)
福祉環境工学 建築学	注1) 建築環境工学, 建築計画及 び都市計画	注1) 建築構造及び建築材料・建 築生産に関する科目 <構造力学, 材料力学, 各種建築 構造及び構造設計, 建築材料並び に建築施工の各科目を含む>	9時～

注1) 関数計算機能を持つ電卓の持ち込みが可能です。ただし、機械エネルギー工学コースの「工業数学」は持込物不可とします。また、プログラムが組める電卓は不可です。

注2) 機械エネルギー工学コースは、受験科目によって試験開始時間が変わることがあります。試験開始時間について、受験前に希望指導教員から指示を受けてください。

注3) 機械エネルギー工学コース、応用化学コースおよび知能情報システム工学コースを志願する場合は、事前に希望指導教員から、受験する試験科目について指導を受けてください。

## 8. 試験会場

大分大学理工学部

## 9. 合格者発表

日 時	第1次募集	2020年9月11日(金)10時
	第2次募集	2021年2月15日(月)10時

合格者は、上記の日時に本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲載するとともに本人に通知します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

# 社会人入試募集要項

## 1. 趣 旨

近年科学技術は多様かつ急速に発展しており、創造性豊かな指導的立場に立ち得る技術者、研究者の養成が求められています。このような社会的要請に応えるため、各種の研究機関、企業又は教育機関等で活躍している社会人の研修の継続あるいは自己再教育の場として本学大学院工学研究科博士前期課程を開放し、併せて、生涯教育に寄与することを目的としています。

## 2. 入試日程

区 分	第1次募集	第2次募集
出 願 期 間	2020年8月3日（月） ～8月7日（金）	2021年1月8日（金） ～1月14日（木）
試 験 日	2020年8月30日（日）	2021年2月3日（水）
合格者発表	2020年9月11日（金）	2021年2月15日（月）

※第2次募集を行う場合は、大分大学ホームページでお知らせします。

## 3. 募集人員

専 攻	コース	募集人員
工 学	機械エネルギー工学 電気電子工学 知能情報システム工学 応用化学 福祉環境工学建築学 福祉環境工学メカトロニクス	若干名

## 4. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者で、2か年以上官公庁、企業又は教育機関等に勤務の経験のある者

- (1) 平成31年（2019年）3月以前に大学を卒業した者
- (2) 平成31年（2019年）3月以前に大学改革支援・学位授与機構から学士の学位を授与された者
- (3) 平成31年（2019年）3月以前に外国において学校教育における16年の課程を修了した者
- (4) 文部科学大臣の指定した者
- (5) 本学大学院において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、22歳に達した者
- (6) 本学大学院において、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者

注1. 出願資格（5）については、短期大学、高等専門学校、専修学校、各種学校の卒業生やその他教育施設の修了者等であっても、個別の入学資格審査により本学大学院への入学資格を認めることができるとしたものです。これにより出願する者は、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

注2. 出願資格（6）に該当する者については、出願前に入学資格の確認をする必要があるため、以下の期限までに学生支援部入試課に照会してください。

照会期限	第1次募集	2020年7月2日（木）
	第2次募集	2020年12月11日（金）

## 5. 出願手続

### (1) 出願期間

第1次募集	2020年8月3日(月)～8月7日(金) 必着
第2次募集	2021年1月8日(金)～1月14日(木) 必着(土, 日, 祝日を除く)

ア 受付時間は、午前9時から午後5時までとします。

イ 郵送の場合は、本学所定の封筒を用い、書留速達にしてください。

### (2) 提出先

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地 大分大学学生支援部入試課 (TEL 097-554-7006)

注. 出願を希望する者は、あらかじめ志望するコースの希望する指導教員と研究内容について相談の上、出願してください。

## 6. 出願書類等

書類名	備考
(1) 入学志願書	裏面の履歴書も必ず記入してください。写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(2) 受験票	写真は上半身、無帽、正面向きで、本人であると確認できるものを所定の欄に貼付してください。
(3) 成績証明書	最終出身学校長又は学部長発行によるもの
(4) 卒業(修了)証明書	
(5) 学士の学位授与証明書	大学改革支援・学位授与機構が証明したもの(出願資格(2)該当者のみ)
(6) 研究(希望)計画書	本学所定の用紙に、博士前期課程で学修したい研究課題(又は研究分野)及びその概要について1,000字以内にまとめたもの
(7) 職務経歴書	本学所定の用紙に、研究・業務歴及び研究業績を記入してください。研究論文、技術報告、特許・実用新案等がある場合は、その業績を表す文書等の写しを添付してください。
(8) 入学検定振替払込受付証明書等(30,000円)	<p>①②のいずれかの方法でお支払いください。</p> <p>①金融機関(郵便局を含む)でお支払いの場合  <b>本学所定の振込用紙を用い、必ず窓口でお支払いください。(ATM不可)</b>  お支払い後は「振替払込受付証明書(大学提出用)」を受験票の貼付欄に貼ってください。</p> <p>②コンビニエンスストア(一部)でお支払いの場合  以下のURLから申し込み、受付番号を入手後コンビニエンスストアでお支払いください。  お支払い後は「収納証明書(コンビニエンスストアによっては領収書)」を受験票の貼付欄に貼ってください。  ・本学ホームページ(<a href="https://www.oita-u.ac.jp/">https://www.oita-u.ac.jp/</a>)  上部メニュー→<b>入試情報</b>→<b>入学検定料のコンビニ収納</b>から申し込んでください。  ・携帯電話からの申し込みURL(<a href="https://www.oita-u.net/mobile/">https://www.oita-u.net/mobile/</a>)  ※フィルタリングサービスをご利用の携帯電話からは、アクセスできないことがあります。</p> <p>※手数料は本人負担となります。  ※納付した検定料は返還できません。</p> 
(9) 返信用封筒(受験票返送用)	本学所定の封筒。あて名等を明記し、374円分の切手を貼ったもの。
(10) 合格通知用住所シール	本学所定の用紙(4枚とも同じ住所・氏名を記入し、切り取らずに提出してください。)

## 7. 選抜方法

入学者の選抜は、書類審査及び面接試験の結果を総合して判定します。

## 8. 面接試験の日程、内容

コース	日程		内 容
	第1次募集	第2次募集	
機械エネルギー工学	2020年8月30日(日) 10時～	2021年2月3日(水) 10時～	面接試験では、専門科目(志望する教育研究分野に関連した科目)、英語(外国の大学を卒業した外国人の志願者は英語と日本語)、研究業績、研究計画書等に関して口述試験を行います。また、研究(希望)計画書及び職務経歴書について試問します。
知能情報システム工学			
電気電子工学	2020年8月30日(日) 午後	2021年2月3日(水) 午後	
応用化学			
福祉環境工学メカトロニクス			
福祉環境工学建築学	2020年8月30日(日) 午前	2021年2月3日(水) 午前	

※面接試験を受験しなかった場合は、不合格となります。

## 9. 試験会場

大分大学理工学部

## 10. 合格者発表

日 時	第1次募集	2020年9月11日(金)10時
	第2次募集	2021年2月15日(月)10時

合格者は、上記の日時に本学ホームページ (<https://www.oita-u.ac.jp/>) に合格者受験番号を掲載するとともに本人に通知します。

なお、電話による合否の照会には応じません。

# 共通項目

## 1. 障がいのある者等の事前相談について

本学へ入学を志願する者のうち、障がいのある者等で、受験上及び修学上の配慮を必要とする場合は、以下の期限までに、次の事項を記載して（様式任意）、医師の診断書を添え本学学生支援部入試課に提出してください。

- ・障がいの種類・程度
- ・受験の際に特別な配慮を希望する事項
- ・修学の際に特別な配慮を希望する事項
- ・日常生活の状況及びその他参考となる事項

提出期限	第1次募集	口述型	2020年5月21日（木）
		筆記型	2020年7月2日（木）
	第2次募集	筆記型	2020年12月11日（金）

## 2. 入学手続

入学手続きは3月下旬に行う予定です。合格者には、2月上旬に入学手続きに必要な案内を送付します。なお、在職のまま入学される方は、入学手続き時に勤務先の入学承諾書を提出していただきます。

## 3. 入学料及び授業料

入学料 282,000円

授業料 535,800円（前期分 267,900円 後期分 267,900円）

- （1）入学料については、免除・徴収猶予・奨学融資の制度が、授業料については免除・奨学融資の制度があります。免除・徴収猶予の申請は、入学手続期間に行う必要がありますので、詳細については、学生・留学生支援課奨学支援係（TEL 097-554-7386）までお問い合わせください。
- （2）入学料、授業料は改定の可能性があります。在学中に授業料改定が行われた場合には、新授業料が適用されます。
- （3）納付した入学料は返還できません。
- （注）入学料免除・徴収猶予を申請された方で、入学手続完了後に入学を辞退した場合には、直ちに入学料を納付しなければなりません。

## 4. 注意事項

- （1）入学志願者から提出された出願書類等に記載されている個人情報については、独立行政法人等の保有する個人情報の保護に関する法律及び国立大学法人大分大学個人情報保護ポリシーに基づき、入学選抜に係る業務・統計処理などの付随する業務以外には利用しません。ただし、入学料・授業料免除（猶予）及び奨学金を申請した者にとっては、選考資料として利用します。
- （2）出願手続後は、書類の変更及び検定料の払い戻しはできません。
- （3）記載事項に虚偽の記入をした者は、入学後でも入学許可を取り消すことがあります。
- （4）最初に受験する科目の試験開始時刻の15分前までに各試験室に入室してください。
- （5）災害に関する特別措置（入学検定料等）につきましては、本学ホームページ（<https://www.oita-u.ac.jp/>）でお知らせします。

## 5. その他

社会人入学者等について、長期履修制度を認めています。

長期履修制度とは、標準修業年限（2年）を超えて、4年以内の期間で計画的に教育課程を履修し修了することができる制度です。この間の授業料は、履修期間に応じて按分することとしています。申請は、入学手続き時です。

# 工学研究科博士前期課程案内

工学研究科博士前期課程は、学部における一般的及び専門的教養を基礎として、広い視野に立って工学のコース分野を研究し、高度な学識と研究能力を養うものです。修業年限は2年で、各コース所定科目について所定の単位を修得し、かつ、修士論文の審査及び最終試験に合格した者には、修士（工学）の学位が授与されます。

## 1. コースの概要

### 〈機械エネルギー工学コース（工学専門教育プログラム機械エネルギー分野）〉

複雑化・高度化した現在、科学技術は、従来の機械工学・電気工学といった縦割りの学問形態のみでは対応困難となっています。本コースでは、専門領域の知識のみならず、それら枠組みを越えて幅広く問題を捕らえる視野をもった人材の養成を目指します。

このため、学生は、当初から各講座の研究室に属して、担当教員の指導のもとに専門領域の勉強研究を行うとともに、機械的・電氣的領域を中心として他の関連領域を身に付けるよう配慮されています。

### 〈電気電子工学コース（工学専門教育プログラム電気電子工学分野）〉

学部で修得した専門的知識及び技術を基礎として、電気電子工学の分野で指導的な役割を果たす創造性豊かな研究者及び技術者の育成を目的としています。

このため、電気電子工学全般にわたる広い知識を身につけ、より精密な学識と研究及び研究指導能力を養うことに重点を置き、電気電子工学の分野に必要な授業科目が選択できるよう配慮しています。また学生は、制御コミュニケーション、電子デバイス工学、電磁ダイナミクス及び電子情報システム工学のいずれかの講座に属し、担当教員の指導により社会的要求に応え得る能力を身に付けるようになっています。

### 〈知能情報システム工学コース（工学専門教育プログラム知能情報システム工学分野）〉

近年、情報処理システムは、スーパーコンピュータに見られる高速処理、学術情報システムに見られる大量処理、認知科学や人工知能に見られる知的処理等、急速に複雑かつ高度化が進みつつあります。

本コースは、これらの進展に対処するため、基礎情報学、計算機工学、知識科学等にわたる高度の研究教育を行い、時代の要請する専門技術者、研究者及び教育者を養成することを目的としています。

### 〈知能情報システム工学コース（数理科学教育プログラム数理科学分野）〉

高度に発展した科学技術を支える数理科学分野の知識や論理的思考能力をもち、新たな課題の探求・発見・解決ができる研究者および教育者の育成を目的としたカリキュラムが用意されています。加えて、専門分野に分かれた学位論文作成のための研究活動では、問題解決のための論理構築能力・科学的分析力・創造的発想力が養われます。

### 〈応用化学コース（工学専門教育プログラム応用化学分野）〉

本コースでは、化学の諸問題に対応する場面において指導的な役割を担うことのできる研究者、技術者、教育者の育成を目的としています。このため学生には、講義や研究指導を通して化学全般にわたる広い知識と技術を修得するとともに、環境・エネルギー問題に関連した機能性材料・新素材開発、地元農林水産物を原料とした食品開発、廃棄物再資源化技術、レーザー化学分析技術、高圧有機反応化学などから研究テーマを選択し、研究計画の作成から実行、結果の解析から考察までの一連のサイクルをサポートを受けながら繰り返し、最終的に論文としてまとめるためのカリキュラムが用意され、第一線で活躍するために必要不可欠な能力が育成されるように配慮されています。

### 〈応用化学コース（自然科学教育プログラム自然科学分野）〉

自然科学教育プログラムでは、学部で取得した物質科学、生命科学及び宇宙地球科学などの広範な科学的基礎知識と、それぞれの専門性を応用・発展させ、自然科学における専門分野と隣接する関連領域とを俯瞰できる総合的な知識を備えつつ、一方で多角的な視点からも科学的な課題を捉えることのできる研究者、技術者、教育者の育成を目指しています。そのために、理工系の基礎科目も含めた多様性のあるカリキュラムを用意しています。

#### 〈福祉環境工学 建築学コース（工学専門教育プログラム福祉環境工学建築学分野）〉

本コースは、学部で修得した建築学全般にわたる基礎的知識・技術を基に、さらにadvanced courseとしての建築学及びこれに関連する分野の専門的素養を持った高度な技術者、研究者、教育者の育成をはかります。

学生は、担当教員の指導のもとに、講義等に出席し、勉学を行うことで高度な学識を修得します。また、環境計画（音光熱空気の建築環境と設備・建築計画・都市計画を含む）及び構造設計（建築材料・建築構造を含む）などの研究室に属し、指導教員のもとに専門的研究を行います。

#### 〈福祉環境工学 メカトロニクスコース（工学専門教育プログラム福祉メカトロニクス分野）〉

本コースは、21世紀の福祉社会の要請に応える生活の質（QOL）の向上に貢献することを目的とし、日常生活における機能回復への支援や福祉的生活環境の実現、さらにはユニバーサルデザインなどに関する技術を総合的工学の立場から発展させ、福祉マインド、すなわち人間とそれを取り巻く環境をひとつのシステムとして考えられる人間性重視の設計思想をもった高度技術者及び研究者を養成するための教育・研究を行います。

2. 分野別授業科目

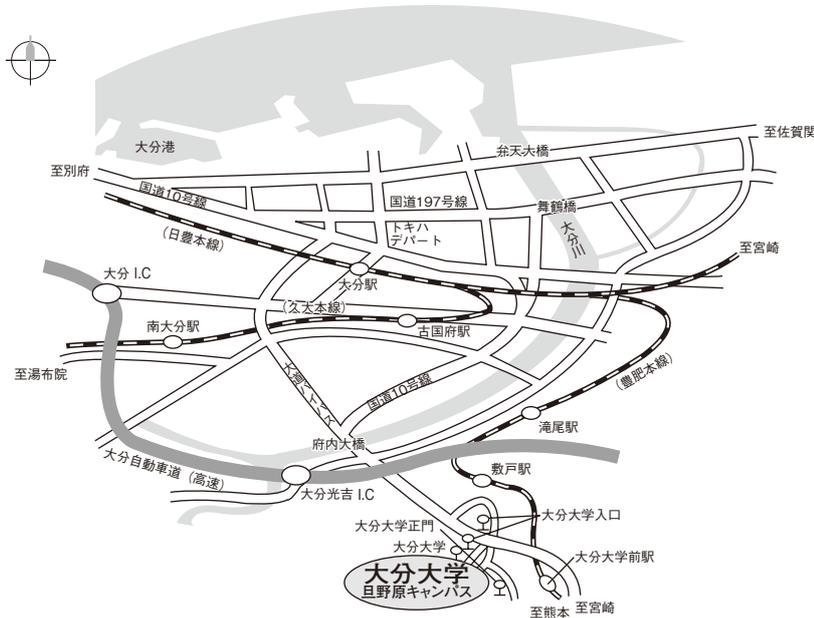
分 野	授 業 科 目	
分野横断型・融合型科目群	先端工学特別講義 科学技術イノベーション特別講義	プロジェクト研究
工学基礎科目群	応用代数学特論第一 応用代数学特論第二 解析学要論第一 解析学要論第二 応用数学要論 情報数学要論 液晶デバイス特論※ 画像解析特論※ 微粒子科学特論※ 非線形科学系特論※	システムL S I設計特別講義 設計解析特論 応用力学特論演習 生物工学特論第一 生物工学特論第二 触媒科学特論 環境材料科学特論  ※自然科学プログラムでは、分野基礎科目群の主分野とし、他では工学基礎科目群とする。
工学専門教育プログラム 機械エネルギー分野	熱工学特論第一 熱工学特論第二 伝熱学特論 流体工学特論 流体機械特論 振動工学特論 機械力学特論第一 機械力学特論第二 流体力学特論 材料強度学特論 設計加工学特論	機械設計学特論 熱エネルギー解析工学特論 熱流体エネルギー解析工学特論 粘性流体工学特論 粘性流体工学特論演習 弾性力学特論 計算固体力学特論 電磁流体工学特論第一 電磁流体工学特論第二 電磁気計測工学特論 機械制御工学特論
工学専門教育プログラム 電気電子工学分野	電磁気学特論第一 電磁気学特論第二 制御システム特論 通信工学特論 音響工学特論 電気エネルギー工学特論 電気機器工学特論 電力工学特論第一 電力工学特論第二 信号処理工学特論 フォトニクス特論	電子回路特論第一 電子回路特論第二 電子機器特論 電磁波工学特論 応用電子工学特論 電気電子工学演習第一 電気電子工学演習第二 ナノエレクトロニクス特論 電気電子工学社会論 半導体デバイス特論

分 野	授 業 科 目	
工学専門教育プログラム 知能情報システム工学分野	情報処理特論第一 情報処理特論第二 ネットワーク特論第一 ネットワーク特論第二 情報システム特論第一 情報システム特論第二 計算機システム特論第一 計算機システム特論第二 システムプログラミング特論第一 システムプログラミング特論第二 システムプログラミング特論第三 知能システム特論第一 知能システム特論第二 知能システム特論第三	人間工学特論第一 人間工学特論第二 人間工学特論第三 情報工学演習第一 情報工学演習第二 システム工学演習第一 システム工学演習第二 情報システム特別実習 I A 情報システム特別実習 I B 情報システム特別実習 II A 情報システム特別実習 II B
数理学教育プログラム 数 理 科 学 分 野	代 数 学 特 論 第 一 代 数 学 特 論 第 二 代 数 学 特 論 第 三 代 数 学 特 論 第 四 幾 何 学 特 論 第 一 幾 何 学 特 論 第 二 解 析 学 特 論 第 一 解 析 学 特 論 第 二	関 数 解 析 学 特 論 第 一 関 数 解 析 学 特 論 第 二 応 用 解 析 学 特 論 第 一 応 用 解 析 学 特 論 第 二 応 用 数 学 特 論 第 一 統 計 科 学 特 論 第 一 統 計 科 学 特 論 第 二 情 報 数 学 特 論
工学専門教育プログラム 応 用 化 学 分 野	分 離 工 学 特 論 分 析 化 学 特 論 セ ラ ミ ッ ク ス 化 学 特 論 材 料 工 学 特 論 無 機 構 造 解 析 特 論 高 分 子 材 料 化 学 特 論 機 能 材 料 化 学 特 論 有 機 材 料 化 学 特 論 物 理 有 機 化 学 特 論 有 機 構 造 活 性 相 関 特 論 生 体 模 倣 化 学 特 論	キ ラ ル 化 学 特 論 生 物 有 機 化 学 特 論 物 質 エ ネ ル ギ ー 化 学 論 ソ フ ト マ テ リ ア ル 工 学 特 論 構 造 有 機 化 学 特 論 進 化 生 物 学 特 論 応 用 化 学 特 別 研 究 第 一 応 用 化 学 特 別 研 究 第 二 応 用 化 学 特 別 演 習
自然科学教育プログラム 自 然 科 学 分 野	液 晶 デ バ イ ス 特 論 画 像 解 析 特 論 微 粒 子 科 学 特 論 非 線 形 科 学 特 論 構 造 有 機 化 学 特 論 第 一 構 造 有 機 化 学 特 論 第 二 進 化 生 物 学 特 論 環 境 生 物 学 特 論	生 物 多 様 性 学 特 論 大 気 海 洋 環 境 特 論 宇 宙 地 球 科 学 特 論 演 習 天 文 学 特 論 自 然 科 学 特 別 研 究 第 一 自 然 科 学 特 別 研 究 第 二 自 然 科 学 特 別 演 習

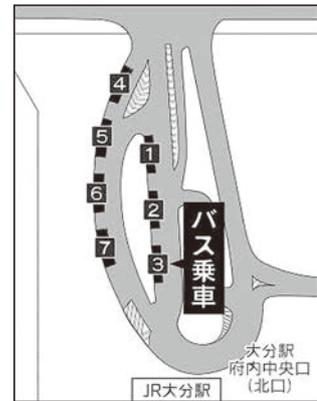
分 野	授 業 科 目	
工学専門教育プログラム 福祉環境工学建築学分野	建築環境工学特論第一 建築環境工学特論第二 建築環境工学特論第三 建築設備計画特論第一 建築設備計画特論第二 建築設備計画特論第三 建築・都市デザイン特論 福祉建築計画特論 都市計画特論 都市設計特論 建築計画設計特別演習第一 建築計画設計特別演習第二 建築構法特論 建築構造設計特論第一 建築構造特論第二 建築構造特論第三	建築木質構造設計特論 材料設計特論 建築材料工学特論 建築耐久設計特論 建築生産工学特論 建築環境設計演習第一 建築設計特論演習第一 建築構造設計演習第一 建築材料設計演習第二 建築環境設計演習第二 建築設計特論演習第二 建築構造設計演習第二 建築材料設計演習第二 建築俯瞰特論 建築実務特論 建築設計インターンシップ 生態学特論
工学専門教育プログラム 福祉メカトロニクス分野	身体運動工学特論 人間工学特論 生体運動解析法特論 運動機能工学特論 生体支援工学特論第一 生体支援工学特論第二 福祉ロボット動力学特論	生体ダイナミクス特論 電磁アクチュエータ特論 福祉メカトロニクス特論 人間情報工学特論第一 人間情報工学特論第二 数理神経学特論
グローバル分野・ 学外特別実習科目群	M O T 特 論 I M O T 特 論 II M O T 特 論 III M O T 特 論 IV ベンチャービジネス論	英語表現法特論 I 英語表現法特論 II 学外特別実習 A 学外特別実習 B 学外特別研究

◎試験会場案内図

大分大学旦野原キャンパス位置図



大分駅前バス乗り場



◎交通アクセス

< JR利用 >

JR 豊肥本線「大分大学前駅」下車（大分駅より約15分），理工学部まで徒歩約15分。

< バス利用 >

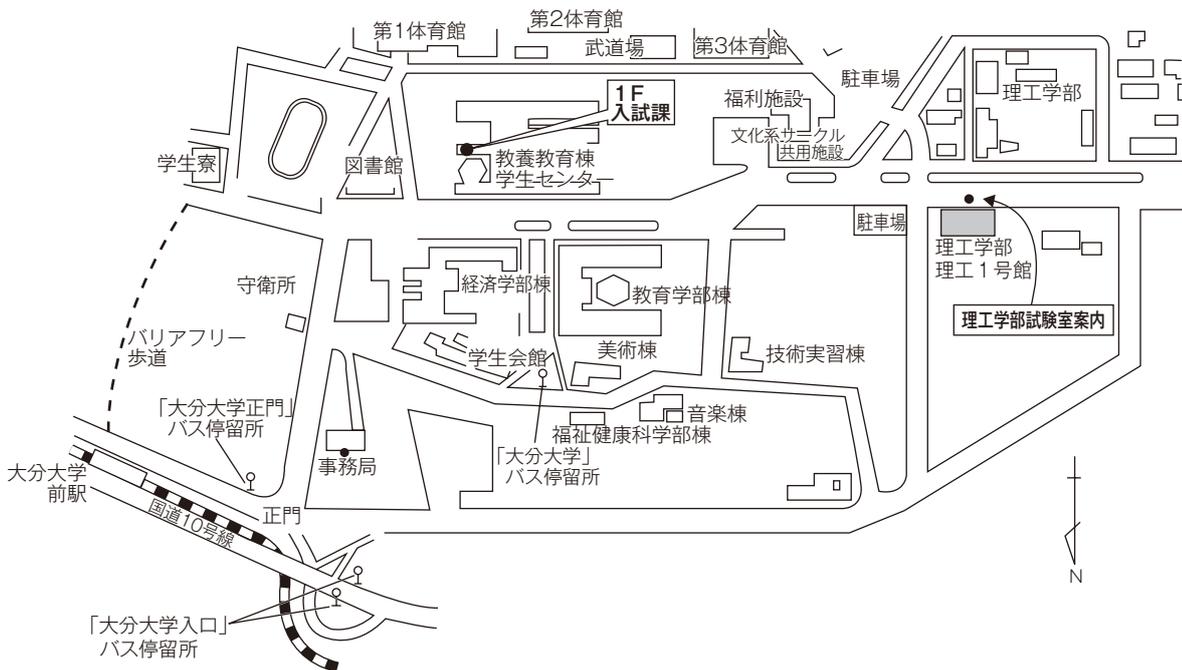
大分バス 大分駅前3番または4番のりばから

○大南団地（高江ニュータウン）」行きを利用（約40分）。

「大分大学」又は「大分大学正門」下車（詳細はバスの時刻表で確認してください。）

○「佐伯, 臼杵, 戸次」行き等を利用（約40分）。「大分大学入口」下車，徒歩約15分。

旦野原キャンパス案内図



— 大分大学学生支援部入試課 —

〒870-1192 大分市大字旦野原700番地

TEL : 097 - 554 - 7006

FAX : 097 - 554 - 7472

(E-mail : [nyucenter@oita-u.ac.jp](mailto:nyucenter@oita-u.ac.jp))

(URL : <https://www.oita-u.ac.jp/>)